



1家具やしめ隊

「家具やしめ隊」？ はあ～ なんだろう・・・と、思う人が多いと思いますが、家具やしめ隊こそが皆さんに喜ばれ頼りにされている家具固定ボランティアグループ(隊員16名)として富士市内で大活躍しています。

定年後、時間に余裕ができ、今まで培ってきた知識・技能や趣味で鍛えた特技を活かし、富士市社会福祉協議会が主催する講座を受講した人たちが集まり、家具固定の必要性のある一人暮らしの高齢者や体に障害があり自分では家具の固定ができない人達をサポートする集団で、ご要望があれば市社会福祉協議会ボランティアセンターを通し「家具やしめ隊」に依頼作業が入ってきます。

支援内容は、無償での転倒防止器具の取り付けや飛散防止フィルムの貼り付けなどで、必要な固定具やフィルムの購入などは依頼者の自己負担となっています。

家具やしめ隊のネーミングは富士市にゆかりのあるかぐや姫と、家具をしめる(ゆるみをなくす)を掛け合わせた造語だそうです。



2-1定例会2

家具やしめ隊は、月1回開催する定例会合において依頼作業の進捗度確認と、新規依頼作業に対しての施工方法の検討を富士市フィナンセ東館3階ミーティングルームにおいて綿密に行っています。



2-2定例会



3-1熊谷事務長

依頼作業への担当割り振りや、隊員からのアイデアの引き出し等を細部にわたって的確にこなしている熊谷仁家具やしめ隊事務長(リーダー)の存在こそが、この活動を活発に押し進めている原動力となっています。



3-2家具固定検討



5家具やしめ隊

家具固定作業の検討は、時間をかけ念入りにすすめられています。施工方法の検討・取り付け器具購入備品の確認・使用工具の確認等、これらをしっかりと行っていくことが、お客様に喜んでいただく第一歩だと理解し、机上での意見が飛び交っていきます。

写真右(家具やしめ隊提供)は、準備された工具・器具備品が積み込まれて・・・いざ！依頼者様宅に出発です。



6-1家具やしめ



6-2家具やしめ隊

しっかりと机上で検討を重ねてきた作業手順が活かされ、依頼者宅での家具固定作業は順調に進んでいきます。(写真提供:家具やしめ隊)

なぜ！このように貴重な時間を、熱心に投入できるのか？ 家具やしめ隊の皆さんに聞いてみました。
<返ってきた声は>

- ①「会社勤務を終え時間的にゆとりが出来たので、これからは趣味で培った日曜大工の技能を他人のために役立てたい。」ありがとうと帰ってくる言葉が自分を勇気づけます。
- ②いろいろな人との出会い、他人を知ることの楽しさ、会話をしている時が自分の喜びでもある。
- ③幼い時から大工仕事が好き、パソコンで知識を学び材料を考えたり工夫を重ね知恵をひねり出す日々が楽しみ。
- ④女性隊員の立場から依頼者側に寄り添って、きめ細かな対応は依頼者様に安心感を与えることが出来ます。女性ならではの対応が、隊の方々の連携に良い結果を生んでいます。
- ⑤やってもらった人が喜ぶとき達成感が湧く、自分でもよかったと喜びを覚える。

いろいろな人との出会い、いろいろな人との会話から”ありがとう”と言う、人と人との気持ちをつなぐ言葉が交わされてきます。

この度「家具やしめ隊」の皆さん取材させていただき、他人の喜びが自分への喜びと化すことを学ばせていただきました。

「家具やしめ隊」の皆様のご活躍をお祈りいたします。

取材：富士・富士宮・北駿地区担当 特派員 渡邊英機